

岩国総合高校だより

「見つけよう夢 見つけよう未来」

発行日 平成28(2016年)6月2日
発行者 山口県立岩国総合高等学校
校長 金石芳朗
TEL 0827-31-6155
HP <http://www.iwakunisogo-h.ysn21.jp>

平成28年度PTA・教育後援会総会、体育文化後援会総会で新体制スタート

【末松晃一 PTA 会長】



【金石芳朗校長】



【的場敏体育文化会長】



5月15日(日)の午後、平成28年度PTA・教育後援会、体育文化後援会総会を開催しました。総会では、新役員を決定し、新しい体制をスタートしました。

PTA・教育後援会総会では、末松晃一会長の再選が決まり、山本史郎副会長、横道恵美子副会長の退任を受けて、新たに八木敦浩新副会長、嶋村絵里新副会長が選出されました。合わせて、4人の常任委員、2人の監査委員、13人の地区委員、14人のクラス委員が選出されました。再選された末松会長は、PTA活動の更なる活性化と支援の充実を呼びかけられました。金石校長は、今年度当初の学校の状況と今年度重点をおいて取り組む、主体的に学ぶ力の育成や授業の改善について説明をしました。

続いて行われた、体育文化後援会では、的場敏会長が再選されました。また、中屋亜子副会長の退任を受けて、横道恵美子新副会長が選出されました。的場会長は、部活動を更に活性化するため、十分な支援を行いたいと挨拶されました。

女子剣道部、中国高等学校選手権山口県予選において団体「優勝」

4月23日(土)・24(日)に行われた中国高等学校選手権山口県予選において、女子剣道部が、大健闘して団体が13年ぶりに「優勝」しました。本当に素晴らしいと思います。心から祝福するとともに、日々、厳しい鍛錬を続けてきた精神力に敬意を表します。そして、6月17日(金)から19日(日)に、岡山県のジップアリーナで行われる中国選手権大会でも更に活躍して、中国地区ナンバーワンを、めざして頑張ってください。

また、中国大会には、剣道個人に女子3名、男子1名、弓道個人に女子1名も出場します。併せて健闘を祈ります。



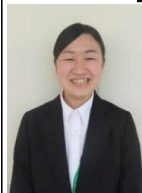
ようこそ先輩、ピカピカの教育実習生お二人にインタビューをしました！

【岡原奈津美 先生】



- ・担当教科：家庭科
- ・在籍大学：九州女子大学家政学部人間生活学科(4年)
- ・今の総合生の印象：明るく元気で礼儀正しい。
- ・総合生に一言：悩みがあれば気軽に相談してください。

【中村麻衣子 先生】



- ・担当教科：美術
- ・在籍大学：東亜大学芸術学部アート・デザイン学科(4年)
- ・今の総合生の印象：挨拶ができて笑顔が絶えない。
- ・総合生に一言：様々なことにチャレンジしてください。

【授業公開週間の御案内】

6月6日(月)～6月10日(金)は、授業公開週間です。保護者や地域の多くの方の御来校をお待ちしております。是非、本校生徒の学習に取り組む姿を御覧になっていただけたらと思います。

最終日の6月10日(金)の午後は、情報モラル研修会を行います。親子でスマホやネットについて考えてみませんか。

【6・7月の予定】

6月4日(土)・5日(日) 高校総体山口県予選
6月27日(月)～7月1日(金) 第2期
6月27日(月)～7月1日(金) 第2期
7月19日(火) クラスマッチ
7月20日(水) 夏休み前全校集会
7月21日(木)～7月29日(金) 保護者会

週頭朝礼校長講話 平成28年5月30日（月）
「科学の光と影について」

先週の金曜日、オバマ大統領が、現職のアメリカの大統領としてはじめて、被爆地である広島を訪問しました。

そして、オバマ大統領は、原爆慰霊碑に花を手向けたのち、演説を行いました。その中で、戦争の悲惨さを強調し、「核兵器のない世界を追究する」という決意を表明しました。

世界の平和に向けた力強いメッセージだったと思います。

私は、元々理科の教員であり、物理や化学や生物を教えていました。その中で、科学の倫理に関する内容も、適宜、話題に挙げて生徒と一緒に考えていました。

そのため、今回の演説内容には共感する部分が多く、特に、科学の光と影について述べたところには、強く共感しました。

演説では、科学の光の面である、科学の発見によって、病気を治したり、雲の上を飛んだりすることなど、私たちの生活を豊かにして来たことを述べていました。

一方、科学の影の面として、科学の同じ発見によって、より効率的に人を殺すための機械をつくったことを述べていました。

私は、物理の原子と原子核の学習において、エネルギーと質量の関係式 ($E = mc^2$) について説明するとき、よく、科学の光と影の面について話をしました。

この式は20世紀最大の天才物理学者アインシュタインが相対性理論を作り上げるときに導き出した式です。

この式を使うと、元素名が分かれば、その原子核が分裂したら、どのぐらいのエネルギーが取り出せるか、正確に計算することができます。

そして、この式を発展させた技術として、体の中を透視するレントゲンや癌を治す放射線療法などがあります。これが光の面です。

そして、同じ発見を使って、核兵器をつくって人の命を奪うことができます。これが影の面です。

この式に関しては、アインシュタインと日本ではじめてノーベル賞を受賞した物理学者の湯川秀樹博士との間に、次のような逸話があります。

アインシュタインは大の親日家で、日本の文化や日本人の謙虚さをこよなく愛していました。

その日本の広島と長崎に原爆が投下され、たくさんの人の命が奪われたことに大変ショックを受けました。

原爆が投下されて3年後、研究のため湯川博士がアメリカに招かれたときに、アインシュタインが自ら湯川博士を訪ね、「原爆で何の罪もない日本人を傷つけてしまった。こんな私を許してください」と激しく泣き出し、深々とお辞儀を繰り返したそうです。

この姿を見て、湯川博士は「学者は研究室の中が世界の全てになりがちだが、世界の平和なくして学問はない」という思いに至り、世界平和のための運動に力を入れるようになったと言われています。

アインシュタインも、元々平和主義者で、原爆を使うことには反対をしていました。そして、戦後、広島や長崎への原爆投下の反省を踏まえて、世界の著名な科学者とともに世界平和に関する活動を積極的に行いました。

このような話を聞くと、科学を平和的に利用することは、科学者が決めるかのように思えますが、決してそんなことはありません。

科学を戦争に使わずに人類の平和のために使うという世論を作り上げるのは、国民一人ひとりです。そして、国の代表であり、国をどう動かすかを決める代議士を選ぶのは、主権者であり、選挙権を有する国民一人ひとりです。

皆さんは、まもなく18歳になれば、選挙権を持つようになります。是非、科学の光と影、道徳や倫理について自分で考え、自分で判断し、自ら行動できるようになってほしいと思います。

学校の授業、部活動、行事など全ての場面がその勉強の機会です。

今週も目の前のことを精一杯頑張らしましょう。